

OPTIMA

オペレーションマニュアル



※写真は2連グラインダー仕様となります。

お客様へ

このたびは、全自動エスプレッソコーヒーマシン「OPTIMA」をご使用いただき誠に有難うございます。
この取り扱い説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に『安全上のご注意』を必ずお読み下さい。
この取り扱い説明書を必要な時にいつでも見ることができる分かり易い場所に大切に保管してください。
この取扱い説明書の不明な点や、使用中に発生した問題点に関する記載が取扱説明書にない場合には
販売代理店に連絡をして下さい。

- ・ 安全上の注意3
- ・ マシン仕様と各部の名称5
- ・ オープニング作業6
- ・ クロージング作業7
- ・ ミルク保冷庫の電源操作及び清掃7
- ・ 各ボタンの抽出方法8
- ・ コーヒー豆の補充方法.....9
- ・ 抽出ライン(コーヒー/ミルクの自動洗浄).....10
- ・ マシン機能上のメッセージ(アラーム)一覧..... 12
- ・ 故障かなと思ったら。.....13

安全上のご注意（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明



警告

この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意

この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

一般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行わないで下さい。修理や分解組立が正しく行われないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行わないで下さい。水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい（電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。）
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡をして下さい。そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながっていないこと、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーカスが無く、十分に冷えていることを確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意して下さい。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行って下さい。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないで下さい。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用しないで下さい。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意して下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所又は訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。

警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用すると感電や火災の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのもをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。

注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
 - 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
 - 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
 - 設置周辺温度が45°C以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因となります。
 - 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル (Mpa) 以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。

使用環境条件

気温： 5 - 45 °C (凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。)
湿度： 80% 以下
水硬度： 50以下 (ppm)

- (注) お湯では無く必ず水を給水してください。
- (注) 水以外の飲料 (例えばミルクなど) やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。

注意

操作を行なう時の注意事項

- スチームや熱湯の抽出操作を行なう前にはノズルの向きに注意をして下さい。火傷や怪我の原因になります。また、使い終わった時には誤操作により噴出した熱湯やスチームを浴びないようにノズルの位置を排水トレー方向に向けてください。
 - 顔や手に熱湯やスチームがかからないようにノズルの位置に常に注意をして取扱いを行なってください。
 - スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
 - コーヒーマシンの作動中、コーヒー豆用ホッパーの中に手を入れないで下さい。怪我の原因になります。
 - 抽出ライン (コーヒー/ミルク/ミキサー) の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくともミルク系統内に残ったミルクに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- コーヒー豆用ホッパー及びパウダーは定期的に (2週間) 内部をよく清掃してください。放置しておくとも雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆及びパウダーが入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なって下さい。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なって下さい。
- 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないで下さい。
- 硬度の高い水を使用する場合には軟水器をしようしてカルシウム成分の固着を防いでください。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃、特に抽出ライン及びミルクを推奨する洗浄剤で実施しないで故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

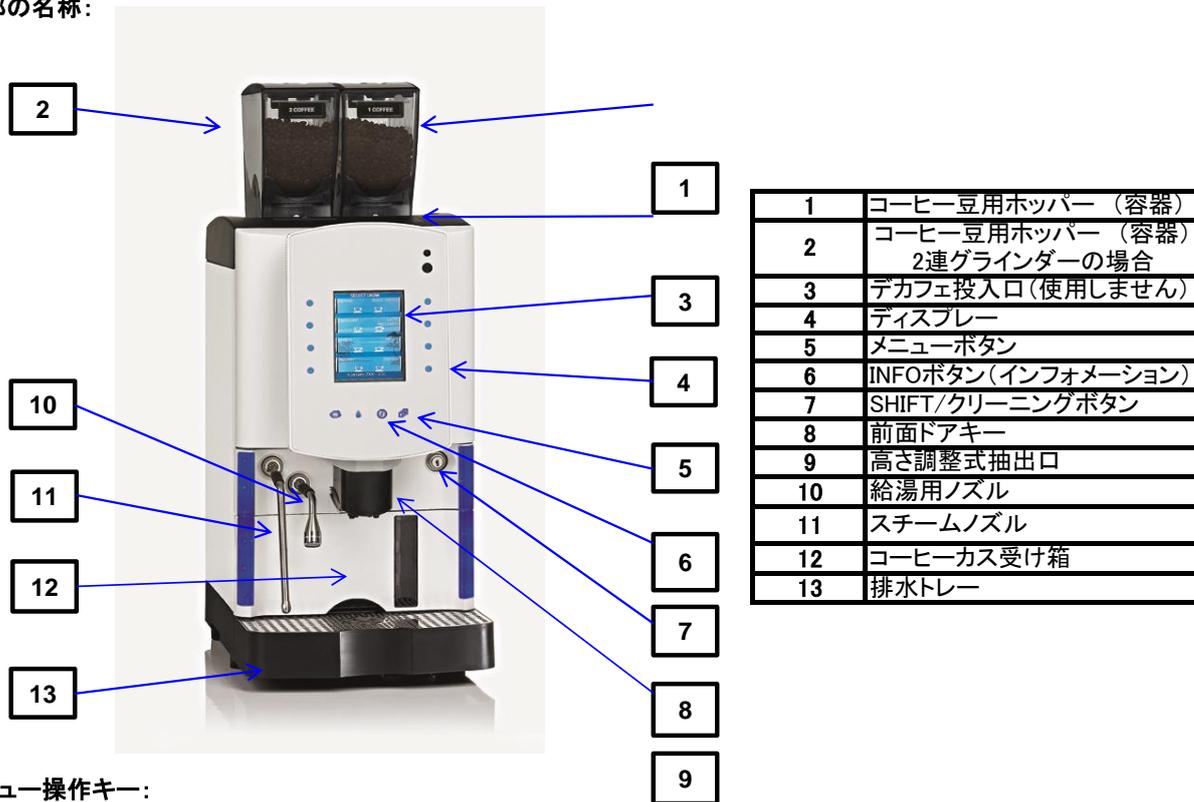
マシン仕様と各部の名称

仕様:

	OPTIMA
幅(mm)	325
高さ(mm)	814
奥行き(mm)	560
満水重量(Kg)	62
コーヒー抽出グループ数	1
グラインダー数	1~2
コーヒー豆 ホッパー数	1~2
給湯抽出口	1
1日 最大抽出杯数(推奨)	約120杯
コーヒー豆 ホッパー容量(g)	700g×2
ボイラー容量 (コーヒー用/スチーム用)	コーヒー用 1L / スチーム用 各1.8L
電気容量/電流(KW/A)	4KW / 20A
使用電源	単相200V
電源コード	約2m
ポンプ	内蔵式 加圧ポンプ
給水接続方法	15A バルブ止め ※ 50/60Hz 共用
排水接続方法 (排水直結の場合)	20Aワイヤ入り排水ホース

※仕様は品質向上のため予告なしに変更する場合がございます。

各部の名称:



メニュー操作キー:



1~8	設定メニューの抽出ボタン
9	スチーム
10	ホットウォーター
11	インフォメーションボタン
12	シフト(メニュー切り替え)ボタン

オープニング(マシン立ち上げ)作業

(1) 事前確認事項 電源を入れる前に

- ① コーヒー豆は容器に十分に入っていますか？
入っていない場合：各容器の蓋を開け、コーヒー豆を補充します。



- ② 排水トレー及びカス箱は空になっていますか？
③ 保冷庫の電源を入れ、保冷庫内の容器にミルクを入れて準備します。
※使用するミルクは、成分無調整とし、加工乳・ロングライフミルクの使用をしないで下さい。
また、ミルクチューブが折れ曲がっていたりしないか確認します。

(2) マシン電源を入れる。

マシンに電源が入り、ディスプレイが下記のように表示し、マシンはOFFの状態を示します。
ボタン⑧をタッチするとマシンに電源が入ります。

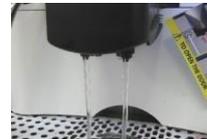


(3) ウォームアップと自動リンス(すすぎ)

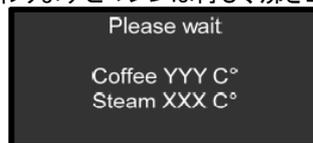
電源をONにしますと、マシンはボイラーへ自動的に給水を行い、沸き上げを開始します。
コーヒーボイラーの温度が**50°Cに到達します**と、マシンは自動的にすすぎを開始され抽出口より湯が出てきます。
ディスプレイは下記表記となります。



注意！ 
自動的にすすぎが開始された時、抽出/スルから少量の湯が排出されますので、抽出口付近には手を近づけないで下さい。



すすぎが終わりますとマシンは再び、沸き上げを開始します。



沸き上げが終わり、ディスプレイは抽出できるボタンのランプのみ点灯してお知らせします。



チェックポイント！

ディスプレイ表示のメニューランプが点灯しないボタンは、まだ沸き上げ準備中です。
使用が出来る状態となるまで、しばらくお待ちください。

クローズ作業

(1) マシン電源をOFFにする

- 各クリーニング工程(10ページ参照)を終えてからマシン本体の電源をOFFにします。

① マシン正面右下のインフォメーションボタンを軽くタッチします。

② ディスプレー画面が変わり、⑧のボタンをタッチすると電源OFFとなります。

③ ディスプレーは下記表示となり、電源OFFとなっている事を示します。



(2) ミルク保冷庫の電源ON/OFF 及び 清掃。

他の保冷庫をご使用の場合は保冷庫付属の取り扱い説明書をご確認下さい。

- 保冷庫本体のスイッチを切り換えて使用します。
 - 電源スイッチは、本体ドアパネルを開けた操作スイッチを切り換えます。
 - 使用時 切→5°Cの位置に切り換えます。
 - クローズ時 5°C→切に切り換えます。
 - ファンが回転を始めてから庫内の排気を開始し、保冷を始めます。
 - 保冷が始まりましたら、ミルクをセットします。

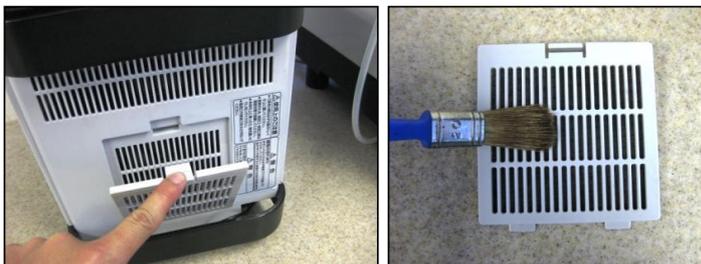
注) スイッチを15°C及び55°Cにしないで下さい。
牛乳が温まり、衛生的に雑菌の繁殖やミルクの吸い上げに影響します。

※使用ミルク:成分無調整とし、加工乳・ロングライフ
ミルクは使用しないで下さい
(ミルクの泡立ち、味に影響があります)



清掃

保冷機能を維持するため、1ヶ月に1度、本体背面のフィルターを取り外し、清掃してください。



フィルターに付着するほこりを清掃してください。

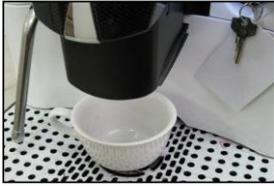
各ボタンの抽出方法

コーヒー / カフェラテ / アイスメニュー / ホットウォーターの抽出

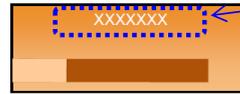
- ・ ディスプレーが『お飲物をお選び下さい』の状態であり、メニューボタンの各ランプが点灯している事を確認します。

各メニューの抽出

- ・ トレーにカップを置き、抽出したいメニューボタンを押します。
抽出ノズルよりメニュードリンクの抽出が始まります。ディスプレイにはゲージが表示され、抽出完了までのおおよそを目視できます。



ゲージの表記



抽出したボタンの
ドリンク名を表示

ミルク追加機能

- ・ ミルクメニューを抽出した際にボイラー圧力の影響やミルクの泡立ち具合により、出来上がり量が違って見えることがあります。
そのような場合は、『ミルク追加ボタン』を設定する事で、そのボタンを長押しする事によりミルクの追加をします。



設定されたミルク追加ボタンを長押ししている時だけ、
泡立ちミルクを抽出します。

ホットウォーターの抽出

- ・ マシンのディスプレイが『お飲物をお選び下さい』の状態であり、メニューボタンのランプが点灯している事を確認します。
- ・ トレーに容器をカップ(容器)を置き、給湯ボタン  を押します。
- ・ 適量抽出され、自動で停止します。
- ・ ディスプレーにはゲージを表示します。



給湯ボタン

スチームの使用とクリーニング

- ・ マシンのディスプレイが『お飲物を選んでください』もしくは『SELECT DRINK』の状態であり、メニューボタンのランプが点灯している事を確認します。
- ・ 温める容器にスチームノズル先端を差込み、スチームボタンを押します。



注意!

スチームノズルを使用する時は、
火傷防止のため、必ずゴムのラバー部分を
持つようにしてください。

- ・ 使用後は、濡れた布巾等で拭き取ります。



チェックポイント!

使用後は液体が残っている容器にスチームノズルを
差込み浸し続ける事を避けてください。パイプ内にドリンクが
詰まり、異臭発生や故障の原因になります。



コーヒー豆の補充

常に新鮮なメニューでご提供していただくために、おおよそ1日の消費量を補充してください。

コーヒー豆の補充方法

コーヒーホッパー(容器)の蓋を開け、
コーヒー豆を補充して下さい



※日々マシンを使用していきますと、コーヒーの脂成分等で豆ホッパーの内側が汚れてきます。
そのままにしておきますと豆の劣化、臭いコーヒーの原因となります。
豆ホッパーの内側は補充する前に毎回乾いた布巾やティッシュなどでこまめに拭き清掃してください。

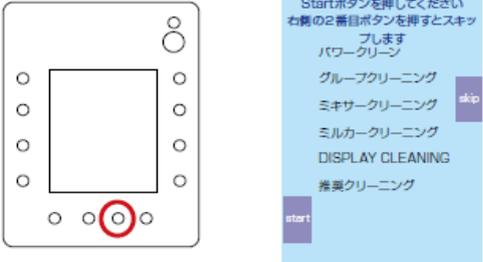
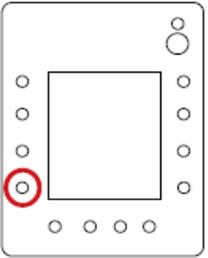
- パワークリーンは、ミルクラインに付着するミルクの脂肪分を効果的に取り除く事が出来ます。

毎日のお手入れ『抽出ラインの自動洗浄』前と時間の空いたアイドルタイム等に行う事で、常にマシン状態を良好に保ち、安定したメニューを抽出するために必要です。

！ 注意！

パワークリーンは、ボイラーのお湯をミルクラインチューブ及び抽出ノズルへ排出します。必ずミルク洗浄用容器を使用し、下記手順に沿って行って下さい。

抽出口付近には手を近づけないで下さい。火傷の原因となります。

<p>1 ミルクチューブをミルクの容器から取り外し、ミルク洗浄用容器にチューブを差し込みます</p> 	<p>2 『SHIFT』ボタンを5秒間長押しします。 →ディスプレイ表示が変わります。</p> 
<p>3 点滅しているボタン 7を2回押します。パワークリーナーを開始します。</p>  <p>ミルクチューブと抽出口からお湯が排出します。 (注) 抽出口から湯が排出されますので、手を近づけないで下さい。</p> 	<p>4 『パワークリーナー』が終了しますと、ディスプレイは『SELECT DRINK』の画面となります。容器に排出した湯が溜まりますので、捨てて下さい。</p>  <p>『ミルクラインに付着するミルクの脂肪分を効果的に取り除き、ミルクメニューの品質を保つために、清掃時だけでなく、大量のミルクメニューを販売した後</p>

- コーヒーを抽出した後は、ブルーイングユニットの内部が汚れてきます。特にミルクベースのコーヒーを抽出した時には、ミルカー(吸引口、ミルク抽出口)が汚れてきます。
 - 毎日のお手入れは、マシンのトラブル発生(抽出詰まりやミルクの泡立ちが悪い等)を減少させ、常にマシン状態を良好に保ち、安定したメニューを抽出するために必要です。
- ※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用をしてください。

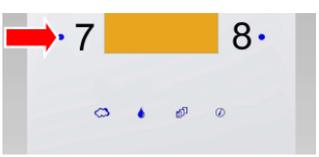
1 下写真のように『SHIFT』ボタンを5秒間長押しします。



ディスプレイは次のように表示します。



2 ボタン7を押すと抽出ユニットが動き、クリーニングが開始します。



3 前面ドアを開けます。



4 付属の清掃用ブラシ等でピストンやシリンダー周りに残っているコーヒー粉を掃除します。



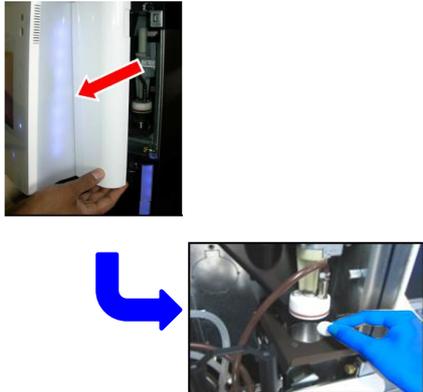
5 ピストン底に装着しているフィルターもきれいな布で拭きます。



6 ピストン関連の掃除が終わりましたら、前面パネルを閉めます。



7 再び、前面パネルを開け、抽出シリンダー部に洗浄剤を1錠入れて前面パネルを閉じます。



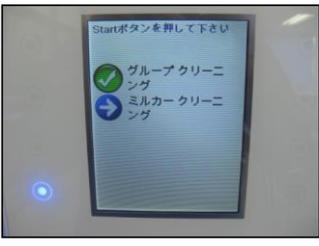
8 自動的に洗浄がスタートし、抽出口より洗浄液が出てきます。



この時ディスプレイは下記のように表示され、この工程のクリーニング終了時刻を表示します。

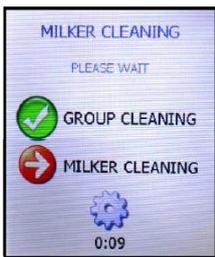
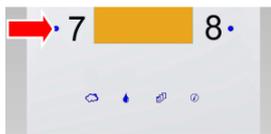
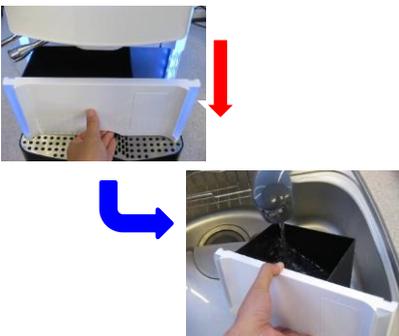
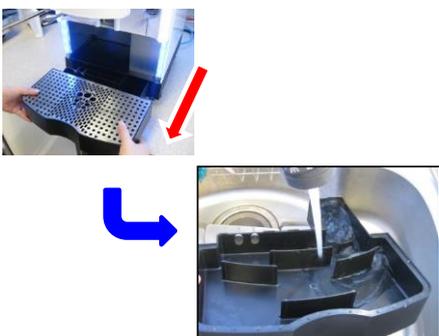
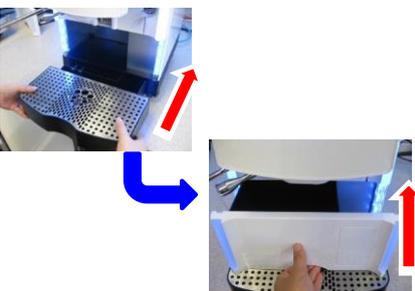


9 コーヒーラインの洗浄が終わるとディスプレイは次のように表示され工程を終えたことを意味します。ボタン7が点滅しているので、ボタンを押し、次の工程に進みます。



※ シリンダーに洗浄剤を投入する際、約40秒経過すると電源がOFFとなりますので、時間内に洗浄剤を入れてください。

抽出ライン(コーヒー/ミキサー/ミルク)の自動洗浄の手順

<p>10 レクチューブをミルクの容器から取り外し、ミルク洗浄溶液(洗浄剤30cc + 水300cc)に差換えます。</p> 	<p>11 ボタン 7 が点滅しているので、ボタンを押しますとミルクラインの洗浄がスタートします。</p>  <p>洗浄がスタートし、抽出口より洗浄液が出てきます。</p> 	<p>12 ディスプレーは下記のように表示され、この工程のクリーニング終了時刻を表示します。</p> 
<p>13 最初のミルクラインの洗浄が終了すると、ディスプレイは次のようになります。</p>  <p>容器に冷水のみを入れた後にミルクチューブをもう一度容器に入れます。</p> <p>注) 洗浄剤が容器に残った場合は、1度洗浄剤を捨ててからすすいだ後、水を補充してください。</p>	<p>14 ボタン 7 が点滅しているので、ボタンを押しますとミルクラインの洗浄がスタートします。</p>  <p>再度ミルクラインの洗浄がスタートし、抽出口より洗浄液が出てきます。</p> 	<p>15 ミルクラインのすすぎが終了するとディスプレイは下記のようになります。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; color: red; text-align: center;"> <p>この時アラーム: 『カス受け箱がいっぱいです。』が表示しカス受け箱を掃除のため、取り外し清掃します。</p> </div>
<p>16 カス受け箱を取り外すため、抽出ノズルとスチーム・給湯ノズルを上方方向に上げます。</p> 	<p>17 カス受け箱を取り外し、洗浄します。</p> 	<p>18 排水トレー外し、トレー内部とすのこを洗浄します。</p> 
<p>19 掃除後の排水トレーと取り外したカス受け箱を元の位置に差し戻します。</p> 	<p>注意!</p> <p>取り外した排水トレーやカス受け箱を洗浄する時は、熱により破損しますので、食器洗い洗浄機の使用は避けて下さい。</p>	

マシン機能上のメッセージ(アラーム) 一覧 (故障ではありません。)

マシンのアラームは、ディスプレイに表示されます。

各アラームとディスプレイ表記	対処
前面ドアが開いています	<p>原因: 前面パネルが正しく閉じられていません。</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前面パネルを閉め直し、前面パネルに鍵をかけて下さい。
カス箱がいっぱいです	<p>原因: コーヒーカス受け箱が満杯です。 杯数が設定した規定量に達しました。</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カス受け箱を取り外し、コーヒーカスを捨てて下さい。 約10秒後、ディスプレイ表示が『カス箱が挿入されていません』になりましたらカス受け箱を挿入してください。
カス箱が挿入されていません	<p>原因: コーヒーカス受け箱が正しく挿入されていません。</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カス受け箱を正しい位置に挿入しなおしてください。
コーヒー豆が入っていません	<p>原因: コーヒー豆容器にコーヒー豆がありません。 コーヒー豆容器が正しくセットされていません。 (ストッパーが解除されていません。)</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーヒー豆容器にコーヒー豆を補充してください。 ・コーヒー豆容器を正しくセットして下さい。
排水トレイがいっぱいです	<p>原因: 排水トレイが満杯です。 排水口へ直結の場合は、排水が詰まっている可能性があります。</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水トレイを空にして再度挿入して下さい。 ・直結の場合、詰まりを可能な限り除去してください。 又は、ホースの勾配が取れているか確認してください。
排水トレイが外れています	<p>原因: 排水トレイが正しく挿入されていません。</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水トレイを正しい位置で挿入しなおしてください。
90 浄水カートリッジの交換時期です	<p>原因: 浄(軟)水カートリッジの交換時期を表しています。 マシンに予め設定した交換時期、水量、に到達した事を表しています。</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社サービスマンを呼んで浄(軟)水器のカートリッジを交換してください
92 点検時期に達しました	<p>原因: マシン本体の点検時期に到達した事を表しています。 設定した点検時期、稼働数に到達した事を表しています。</p> <p>処置:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社サービスマンを呼んで下さい。 サービスマンがマシンの点検を行ない、磨耗などが起きて交換が必要となった部品を取り替えて、アラームをリセットします。

それはどんな場合?	調べるところ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源が入らない 	<ul style="list-style-type: none"> ① フレーカーが落ちていないか確認してください ② マシンコンセントが抜けていないか確認してください
<ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒーの温度が低い 	<p>連続抽出した後や多量に給湯を取った後 ポイラー内の温度は低下します。</p> <p>その場合は、しばらく待って抽出を行ってください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ミルクの量が減った。 ミルクの泡立ちが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ① マシンのクリーニングを行ってください ② ミルカーの分解洗浄を行ってください。 ③ ミルカー用のパッキンを交換してください。 (差込みがゆるい場合) ④ ミルカージョイント部分をはめ直してください (かみ合わせが悪い場合が有ります。) ⑤ ミルカー用シリコンチューブを交換してください。 ⑥ ミルク保冷庫が冷えているか確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒーを抽出する時： <ul style="list-style-type: none"> 1. 味がうすくなった 2. コーヒーの出方が悪い 3. ピストンパッキンが切れてしまった 4. 抽出湯量が減った。 5. コーヒーの泡立ちが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ① ピストンのパッキンを交換する。 ② 上ピストン底のフィルターを拭く ③ マシンのクリーニングを行ってください。 ④ ホッパー（豆の容器）の内部を清掃してください。 (コーヒー豆の脂が付着しますと、新鮮なコーヒー豆の劣化を早めます。内部に脂が付着しないようこまめに拭いて下さい。)
<ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒーがよく出てこない 	<p>上ピストン底のフィルターを拭いて下さい</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ マシン下より水漏れ 	<p>排水ホースが詰まってないか確認してください。 (牛乳などをトレイに流しますと、脂肪分が固まり、流れ難くなります。流さないようにしてください。)</p>

※ ここに書いている処置をしたのに改善しない、或いは、ここに書いている以外の状態が発生した場合は、サービスセンターへご連絡下さい。

1.保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱書の内容をお確かめいただき、コーヒーマシンが直らないときは電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3.アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障をした場合には故障箇所の無料修理を行いません。
- 2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡して下さい。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有償修理になります。
 - a 使用上の誤り、取扱説明書に記載してあるとおりの使用をしなかった場合。
 - b 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠ったことが原因で発生した故障や損傷。
 - c 使用する水質、水圧等が原因で発生した故障や損傷。
 - d 販売店以外で修理、改造などを行なったことが原因で発生した故障と損傷。
 - e 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。
 - f 火災、水害、地震などの天災地変、塩害、公害、異常電圧、過電流など外部要因による故障及び損傷。
 - g 落下、転倒、水濡れ、打撲や本体内部の基盤が破損変形したことなどによる故障及び損傷。
 - h 車両などに搭載して使用したり、移動後に発生した故障及び損傷。
 - i 保証書の提示が無い場合、および保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
 - j 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。
 - k 遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する費用
- 4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - * この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合は当社にお問合せ下さい。
 - * 保証期間は、お買い上げの日より1年間もしくはマシンの累計抽出回数が40,000杯までのいずれかを過ぎた場合は無効となります。
 - * お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
 - * 本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

製品保証書

形 名	OPTIMA
製 品 番 号	11760 / 11761
製 造 番 号	
保 証 期 間	設置日より1か年
お買い上げ日	年 月 日
お客様お名前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社

横浜本社 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

240510